

平成24年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 《 開会行事 》

■開催地挨拶：酒田市長 阿部寿一

みなさん、こんにちは。本日は日本海側の港町から多くのお仲間をお迎えして日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会が開催できました。また今日は、総会開催記念行事である基調講演、事例発表、パネルディスカッションのご案内を差しあげたところ、多くの市民のみなさんからもご出席いただけました。本当にありがとうございます。

かつて日本海側とは裏日本とよばれていた地域であります。しかし、日本海対岸諸国の経済発展などを受け、日本海が経済の海、交流の海として重要になっていくことは間違いありません。その着実な動きが今日の日本海側の港の活況ということで現れているのだと思います。しかし、日本海側の港がこのような形で元気を出してきたというのはある意味では近年のことです。同じ悩みを共有する、同じ課題を共有する港同士でネットワークをつくり、物流、そしてにぎわいづくりのために、さまざまな情報交換や勉強ができるよう協議会運営をしてみたいと思います。本日もさまざまな行事がありますが、ぜひみなさんには最後までご出席いただければ幸いです。最後には大抽選会もあるようでございますので、その時までいなければ損だと思えます。ぜひ最後までパネルディスカッション、事例発表、講演会にご出席いただきたいと思います。また本日は大変ご多用の中、私たち港の振興発展に取り組んでいる者たちにとってとてもありがたい存在である、国土交通省技術参事官難波様、そして東北の港全般の責任者であります東北整備局の梶原副局長様はじめ、大勢のご来賓の皆さまからもご出席いただきました。ありがとうございます。

さていよいよ会の始まりでございます。なごやかな中にも活発な意見交換などがなされる会としていきたいと思っておりますので、みなさんのご協力をよろしくお願い申し上げまして、開催地代表の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

